

子どもたちといっしょに

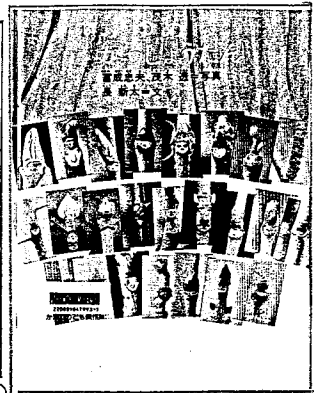
「はるにれ」は、写真だけの絵本ですが、初めてペーパーバックのこの絵本を手にした21年前の感動は忘れません。以来、たくさんの人たちの心をいやし続けてきました。

「ふゆめからしょうたん」は、15年前に出会いましたが、この絵本も、あ、見てごらん、おもしろいね、という声に迎えられました。

雪がとけて、春がやってくる日々、親と子で散歩に出で、色んな春を見つけてください。この地「つくし」「たんぽぽ」(どちらも福音館書店発行・かがくのとも傑作集)もおすすめします。

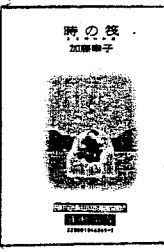


絵本「はるにれ」(福音館書店)



かがくのとも絵本(福音館書店)

読書会 第5回読書会(どなたでも参加自由)



「時の笑」加藤孝著
3月18日(日)1:30~3:30
白根学習館1L-44-5
本は、カウンターでお申し
とみ下さい
(しろね図書館友の会共催)
しろね図書館

投稿書評

新飯田中学校・あんぱんまん太郎 さん
読んだ本「正しい台風の起こし方」
『気象精霊日記』の最初の本です。主人公たろ
精霊が雪をふらしたり、災害をおこしたりする
本です。キャラに個性があって、おもしろいので
読んでみて下さい。そのシリーズは、3冊
発売していて(多分)どれも最高です。

お書評投稿があり、嬉しい3月号になりました。皆さんの原稿、心からお待ちしています。

しろね図書館だより



No. 10

発行 白根市立図書館
平成13年 3月 1日

ご利用ありがとうございます

蔵書点検が終わりました。長い間お待たせしました。昨年の6月1日の間、館前に、蔵書点検をして新図書館出発の予定でしたが、日程不足のままの船出で、しないまま開館してしまいました。今回の点検は、蔵書の整理もすきりし、ようやくほっとしているところです。蔵書の内訳を報告します。これ以後も

蔵書内訳

2001. 2. 19現在

一般書	ティーンズ	児童書	コミック	郷土資料	雑誌	ビデオ	C D	総計
55,202冊	3,373冊	29,116冊	373冊	4,123冊	1668冊	646点	989点	95,490冊(点)

毎月末休館日には、書架の整理をし、年一回、全館の蔵書点検をしていきます。そこで、ご利用いただく皆さまにお願いがあります。

館内で見た本の返し場所は、必ず、元の場所に返してください。もし、返し場所のわからない時は、館内8番と17番の書架の横に、返し場所のわからなかった本を置く、ブックトラックを置いてありますので、そこに置いていただきたいのです。よろしくご協力ください。

2月の開館日数11日

来館者 ----- 5,752人 (見学者16人含む)
貸出冊数 ---- 8,235冊
予約件数 ---- 112件 (処理済のもの)

ブックバス --- 雪の季節も終りに近づきました。3月1日から、また図書館から遠い地区にお伺いします。予定表はこの「しろね図書館だより」の最後のページに。

リクエスト情報(しばらくお待ちください)
1位・「命」10人 10人
「ハリポッターと秘密の部屋」
3位・「ハリポッターと賢者の石」9人
4位・「あ言はばこ嫁行く」8人
5位・「チーズはどこへ消えた」6人
他



雪国にとって、待ち遠しい「春」は、そろそろ来ています。今月の展示架は「春」がテーマです。色々な春を集めてみました。どうぞ、ご利用ください。

3月の行事		ブックバス運行		ブックバス運行	
1 (木)		左瀬小 3:00~3:45	15 (木)	左瀬小 3:00~3:45	
2 (金)		左瀬中 4:10~4:40	16 (金)	左瀬中 4:10~4:40	
3 (土)	おはなし会 3:00~	白井小 2:30~3:15 白井中 4:10~4:40	17 (土)	おはなし会 3:00~	大通地域C 2:00~3:00 読者 11 3:30~4:30
7 (水)	絵本のじかん 3:00~	大通小 2:45~3:30 榑岸小 4:10~4:40	18 (日)	読書会 1:30~3:30	読者 11 3:30~4:30
8 (木)		大橋小 3:00~3:40 榑岸村小 4:15~4:45	21 (水)	絵本のじかん 3:00~	大通小 2:45~3:30 榑岸小 4:10~4:40
9 (金)		小林小 2:45~3:30 白根小 3:45~4:30	22 (木)	読書会 1:30~3:30	大橋小 3:00~3:40 榑岸村小 4:15~4:45
10 (土)	おはなし会 3:00~	新飯田中 2:00~2:45 戸石公舎 3:45~4:30	23 (金)	絵本のじかん 3:00~	小林小 2:45~3:30 白根小 3:45~4:30
14 (水)	絵本のじかん 3:00~	坂曾小 2:30~3:15 新飯田中 3:45~4:40	24 (土)	おはなし会	新飯田中 2:00~2:45 戸石公舎 3:45~4:30
			25 (水)	絵本のじかん 3:00~	坂曾小 2:30~3:15 新飯田中 3:45~4:40

だれが本を殺すのか
親と子を幸せにする自然の法則
シンプルライフ・シンプルラブ
犬鳴山修験道葛城二十八宿を巡る
国境の越え方 増補
歴史をあるく、文学をゆく
江戸ノート
海をこえて近代知識人の冒険
石原家の人びと
宮本武蔵事典
晴れのち曇り曇りのち晴れ
日本名城の旅 西日本編
日本名城の旅 東日本編
政治家追放
対日関係を知る事典
『特集 倒産法の改正』条文資料
環境会計入門
必ず相手を納得させる図解ロジカル・プレゼ
ひるむな上司
これで安心あなたの生保
イラストでわかる35歳・45歳・55歳の
イラストでわかる知らないと損する労働基準
最新やさしくわかる在宅介護
福祉・介護業界で働くためのベスト資格20
子どもをいじめから守る本
カウンセリング・テクニックを生かした新し
大学改革課題と争点
路地裏の大英帝國
娘たちの江戸
世界を変えろ七つの実験
子どもと自然観察スーパーガイド
ゾウの患者
健康学への誘い
実践整体法入門
拒食症と過食症
ガンが消えた55人のレポート超吸収アガリ
賢い患者学ガンは食べて治す
らくにタバコをやめる本
文明の生役
捨てない生活
リフォーム工事の見積り 改訂版
ひと月9000円の快適食生活
チキンとたまごのシンプルディッシュ
カクテルベストセレクション250
映画を食卓に連れて帰ろう
行きたい、食べたいパリのお菓子屋さん
すし職人の包丁捌き
新・病氣とからだの読本 2
赤ちゃんが授かる知恵 改訂新版
雑木林のように、木と草の鉢植え

いってきまーす
ばばんのばん
だれのかさかな
ポケットばん
かたかなアイウエオ
きみにもできる国際交流 15
目で見える世界の国々 55
目で見える世界の国々 57
みんなて学ぶ総合的学習 7 福祉・健康
みんなて学ぶ総合的学習 9 国際理解

ビデオ
小公女
山ねずみロッキーチャック
山ねずみロッキーチャック
山ねずみロッキーチャック
山ねずみロッキーチャック
山ねずみロッキーチャック
山ねずみロッキーチャック
山ねずみロッキーチャック
オズの魔法使
紅の豚

佐野 真一|著
ニコル N. 北林|著
ジャネット ルーアズ|著
垂井 俊憲|写真
西川 長夫|著
半藤 一利|著
山本 昌代||著
高沢 秀次||著
石原 良純||著
加来 耕三||著
熊谷 樞||著
井上 宗和|著
井上 宗和|著
増田 弘|著

有斐閣||編
岡 正照|著
西村 克己|著
弘兼 憲史|著
三田村 京|著
山本 靖雄|著
吉田 正敏|著
亀井 智子|著
長峰 洋子|著
サラ ローソン|著
諸富 祥彦|編著
青木 昌彦|編
角山 榮||編
森下 みさ子||著
日ハート シェルドレイク||著
日高 哲二|著
デイヴィッド テイラー||著
越智 規夫||著
井本 邦昭|著
帆秋 蒼生|著

関根 進|著
石井 周一|著
森本 哲郎||著
クライ 孝子|著
阿部 正行|著
魚柄 仁之助||著
音羽 和紀|著

Cuel||料理
小林 かなえ|著

金沢 康徳|著
西川 吉伸|著
松本 尚子|著
やすい すえこ|著
やすい すえこ|著
東 君平|著
間所 ひさこ|著
わらべ きみか|画
ともくろぶ|編著
トム ストライスグス|著
ダニエル アペベ|著

フランセス・H・バーネット||原
ソートン・バージェス||原作
ソートン・バージェス||原作
ソートン・バージェス||原作
ソートン・バージェス||原作
ソートン・バージェス||原作
ソートン・バージェス||原作
ソートン・バージェス||原作
シ・フランク・ボーム||原作
宮崎 駿||原作、脚本、監督

ブレジント社
アートデイズ
ヴォイス
東方出版 大阪
平凡社
平凡社
新潮社
秀明出版会
新潮社
東京堂出版
平凡社
ゼンリン
ゼンリン
中央公論新社
平凡社
有斐閣
税務経理協会
日刊工業新聞社
祥伝社
日本評論社
東洋経済新報社
東洋経済新報社
日本文芸社
こよう書房
P H P 研究所
学習研究社
東洋経済新報社
平凡社
筑摩書房
工作舎
築地書館
三省堂
現代書林
三樹書房
NOVA出版
イースト・プレス
びいぶる社
講談社
新潮社
ポプラ社
経済調査会
飛鳥新社
柴田書店
日本文芸社
同文書院
文化出版局
河出書房新社
暮しの手帖社
日本文芸社
文化出版局
フレール館
フレール館
フレール館
フレール館
ひさかたチャイルド
偕成社
国土社
国土社
国土社

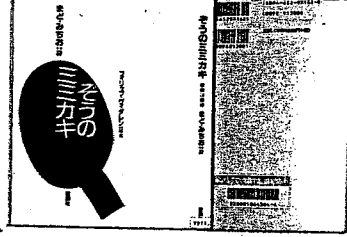
～図書館員のお勧めする本～

『ぞうのミニカキ』 まじ・みちお/詩(理論社)

「ぞうのみみかき」。この本を手にしたのは、この不思議な響きに誘われたのが切っ掛けでした。まじ・みちおさんは童謡の〈ぞうさん〉〈やぎさんゆうびん〉などの作詞で有名な人なので、知っている人も多いと思います。この本は、そんなまじさんの詩集ですが、主人公は動物ではありません。私達の身の回りにはいろいろなくもの(ものが)がこの詩集の主人公です。普段、当たり前のように私の身の回りにはあるものたちにスポットがあてられています。それも、煌々と照らすのではなくひっそりとした、しかし暖かく柔らかな光で。例えばこんな詩。

ながねん つまみがとれた
ながねん むちやづかいされたあげくに とれるべくして・・・
でも きずつきよごれはてたかおで つまみもふたもなにやらほっとしている
これで しばらくはやすませてもらえるかと
だが ひさしいあけくれ ずうっとおせわになりつづけたにんげんは
いきなり つまみとふたとなべつつかみ ごみばごめがけてなげこんでいた
おれいとおわびをいうかわりに・・・
じぶんをなげこむのわすれてる・・・と
さらとしやくしがひそひそはなした”

これは『なべのふたのつまみ』という詩ですが、思わず「あー、そうだよー」と思ってしまったものです。この他にも「そうだよー」「あれ、そうなんだ」と思わせてくれる詩でこの本はいっぱいです。もとの受け取り方・見方というのは十人十色、いろいろあると思いますが、私はこの詩集に表れているまじさんの〈もの〉への愛情をいいものだなと感じました。〈もの〉への愛情が溢れた1冊です。



最後にひとつ。この詩集の題の元にもなっていると思われる『ミニカキとマゴノテ』という詩。これはあるものがぞうの耳かき棒に出世するという詩ですが、何だと思いませんか？私の口から答えは言えません。わかった人もそうでない人も、この詩集を手に取り、自分の目で確かめてみてはいかがでしょうか。(ティーンズコーナー 911.5)

【主事・司書 野沢淳子】

読書会に参加して
(第四回読書会 二月二十五日
バージニア・リー・パートンの絵本・)
原 隆英

読書会に初めて参加させてもらった。過去三回は参加者が少なかったとのことだが、今回は絵本ということもあつたのか、八人の参加があり、大変楽しい読書会であつた。

私は絵本を読んだことはもう記憶にもなく、取り敢えずテーマの絵本を借りて一夜漬け。たまたま自宅で次男と一緒に読めたこともよかつた。自分なりに「子どもが理解できるように絵と文が考えられている」と「作者は優しい心の持ち主」「翻訳がいいな」などの感想をもつて参加した。

会では、各々が感じたことや考えたことなどが発表され、「絵に表現力があつて生き生きとして素晴らしい」「絵と文が一体」「子どもとのコミュニケーションが想像できる」などなど。絵本の素晴らしい世界が語り合われた。テーマからそれて、自分の幼年時代のことや生まれ故郷のこと、自然環境のことなどに話が発展し、楽しい時間が過ぎた。

読書は、人によつて違う感じ方もあつて楽しいものだ。生まれ育つた環境や歩んできた経験などからくる各々の価値観によるものだろう。

楽しい読書会に、多くの人から参加していただきたいものだ。

